

社会資本総合整備計画  
都市再生整備計画 事後評価シート  
宇都宮テクノポリスセンター地区(第二期)

令和 4年 1月

栃木県宇都宮市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	宇都宮テクノポリスセンター地区(第二期)(都市再構築戦略事業(人口密度維持タイプ))	面積	121.5ha
交付期間	平成30年度～令和2年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	2,103.2百万円 国費率 0.5		

都市再生整備計画 事後評価シート

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		・中心拠点誘導施設(教育文化施設):テクノポリスセンター地区新設小学校 ・地域生活基盤施設:テクノポリスセンター地区新設小学校 避難所案内板 ・道路:市道5993号線ほか2路線									
	提案事業											
			事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
当初計画から削除した事業	基幹事業	—										
	提案事業	—										
	基幹事業	—										
	提案事業	—										
新たに追加した事業	基幹事業	—										
	提案事業	—										
交付期間の変更	当初	平成30年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—					
	変更	—										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	居住人口の維持	人	7,354	H28	8,420	R2	8,494	○	あり	良好な都市基盤整備が完了したことや立地適正化計画において地区内を居住誘導区域に設定したことで、快適で利便性の高い住環境が整備され、居住人口の増加につながっている。 小学校が新設されたことで、教育環境の向上はもとより、地域コミュニティ活動や地域の避難場所としての利用もできることとなったことから、地域拠点としての魅力向上に繋がり、今後においても、居住人口が増加が期待できる。	—
	指標2	市民活動機会の増加	回/年	501	H27	600	R2	396	△	あり	分離母体校(清原中央小学校)と新設小学校(ゆいの杜小学校)における地域開放件数の合計を算出する予定であったが、令和2年度末時点で、ゆいの杜小学校が開校前であり、地域開放も行っていないことから、清原中央小学校の令和2年度分の地域開放件数のみを計上した。 なお、令和2年度分の清原中央小学校の地域開放件数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、利用制限などを行ったことから、従前値より減少しているが、ゆいの杜小学校の地域開放が実施された後には、地域住民の市民活動の場が増えることから更なる利用の増加が期待される。	令和5年4月(ゆいの杜小学校の地域開放時期が未定のため、実施時期が前後する可能性あり)
指標3	一時避難場所への到達時間縮減	分	27	H28	14	R2	14	○	あり	小学校が整備されたことで、地区内に避難場所ができたことにより、地区住民の避難場所への移動時間が大幅に削減され、地区の防災性が向上した。	—	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他の数値指標2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の数値指標3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに小学校が整備されたことにより、地域拠点としての魅力向上に繋がり、居住促進が図られている。</li> <li>・地区内に避難場所ができたことにより、地域の防災性の向上や良好な住環境が形成されている。</li> <li>・スクールゾーン内の路面標示を行ったことにより、地区内道路利用者の安全意識の向上が図られている。</li> <li>・避難所案内板の設置により、地域の避難所としての周知を広く行うことができています。</li> </ul>											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等					
	モニタリング	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			—				
	住民参加プロセス	事業実施時において、随時、開校準備委員会を開催し、意見交換等を実施した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 今後も、学校や地元からの意見などを聴取しながら、円滑な運用に取り組んでいく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	ゆいの杜地区の自治会において、加入世帯数が増加したことから、円滑に活動ができるよう、自治会を再編し、2自治会から5自治会とした。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ゆいの杜小学校において地域開放を行い、自治会活動の場を提供することで、よりよい地域活動や愛着のあるまちづくりの形成につなげていく。				

## 様式2-2 地区の概要

### 宇都宮テクノポリスセンター地区(第二期)(栃木県宇都宮市)都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
大目標 ネットワーク型コンパクトシティにおける便利で暮らしやすく持続可能な地域拠点の形成	居住人口の維持	単位:人	7,354	H28	8,420	R2	8,494	R2
目標1 地域拠点における居住誘導の推進	市民活動機会の増加	単位:回/年	501	H27	600	R2	396	R2
目標2 地域コミュニティを支える市民活動の活性化	一時避難場所への到達時間縮減	単位:分	27	H28	14	R2	14	R2
目標3 避難場所の整備による地区の防災性向上								



誘導施設(教育文化施設)  
テクノポリスセンター地区新設小学校(ゆいの杜小学校)

■基幹事業  
中心拠点誘導施設(教育文化施設)  
テクノポリスセンター地区新設小学校



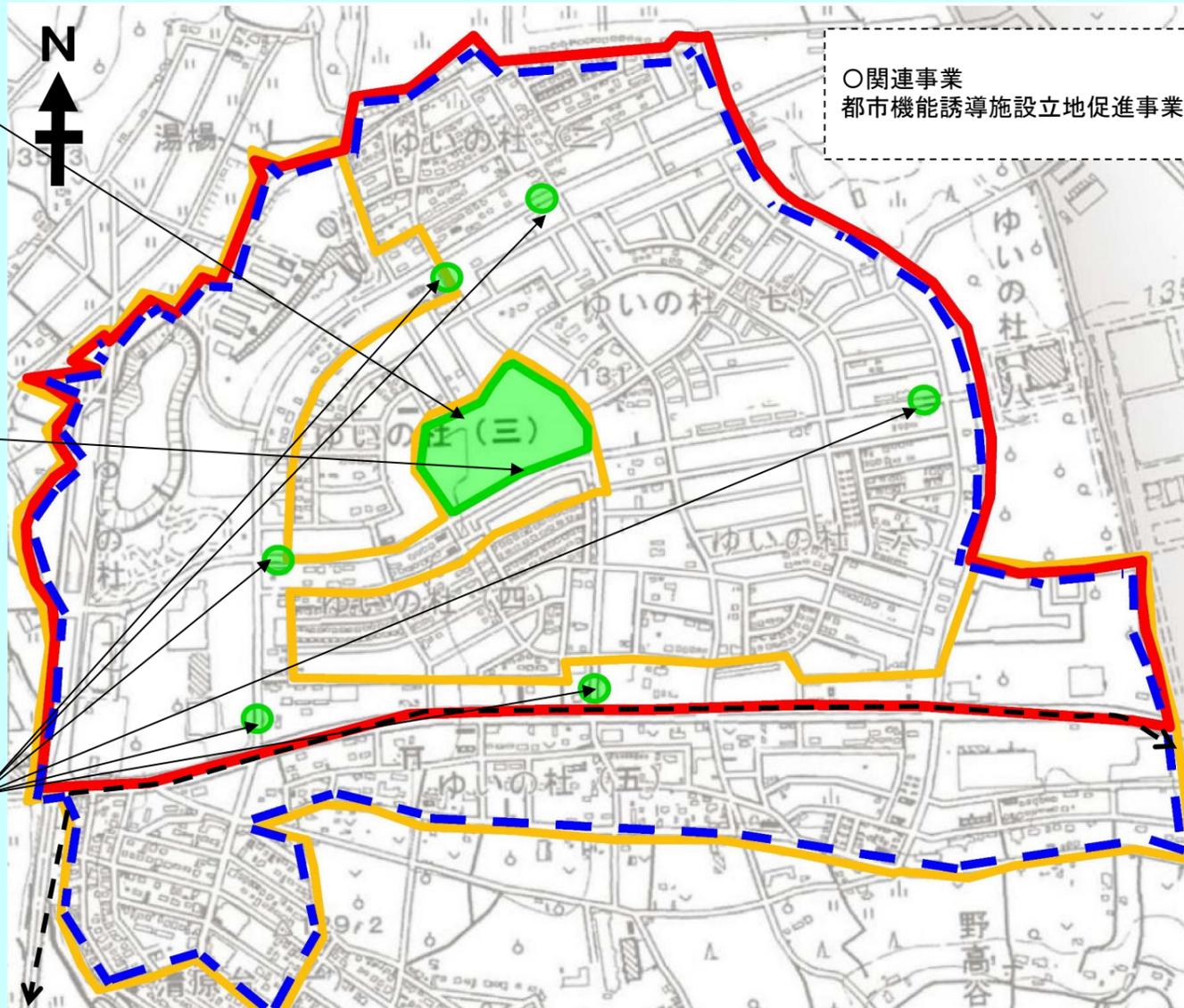
地域生活基盤施設  
避難所案内板

■基幹事業  
地域生活基盤施設  
避難所案内板設置



道路  
路面標示(スクールゾーン)

■基幹事業  
道路  
市道5993号線ほか2路線  
路面標示(スクールゾーン)



○関連事業  
都市機能誘導施設地促進事業

○関連事業  
3・2・3号宇都宮芳賀線整備事業

○関連事業  
都市交通関連施設整備事業

○関連事業  
街路事業(市道1525号線整備事業)

○関連事業  
都市交通システム整備事業

凡例	
	基幹事業
	関連事業
	整備区域
	都市再生整備計画区域
	都市機能誘導区域
	居住誘導区域

まちの課題の変化  
 ・児童数が急増しているテクノポリスセンター地区において、快適な教育環境を確保することができたが、今後は、学校開放の準備が整い次第速やかに地域開放を行い、地域のコミュニティ活動の促進を図るため、適正に施設管理する必要がある。  
 ・避難場所へ到達する時間が削減がされたことにより防災性の向上につながったが、今後、人口増に伴う交通量や夜間の歩行者の増加が予想されることから、交通安全性や防犯性の向上など、安全・安心で暮らしやすい住環境の確保に努めていく必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)  
**【安全・安心で快適な周辺環境の形成】**  
 ・今後も、児童数の増加が見込まれている状況であるため、地域と連携しながら、交通安全の徹底や防犯意識の向上を図ることなどを推進していく。  
 ・ゆいの杜小学校が新たな避難場所としての利用もされるため、学校周辺の住民のみではなく、テクノポリスセンター地区全域の住民に周知を図っていく。  
**【地域コミュニティ形成への支援】**  
 ・円滑な地域コミュニティ形成の場としての施設利用促進のため、施設の利用方法や遵守事項などを含めた施設の利用に関する周知を行っていく。